

# 会 議 録

第 1 3 回定例会

開会 令和5年10月26日

## 教育委員会会議録

1 開 会 令和5年10月26日 午前10時45分

2 閉 会 令和5年10月26日 午前11時45分

### 3 教育委員会出席者

教育長	榊 浩一
委員	島 隆寛
委員	三木 千佳子
委員	河野 暁
委員	岡本 弘子
委員	横田 賢二

### 4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	阿部 淳子
教 育 次 長	中野 敏章
教 育 次 長	生田 雅和
教 育 創 生 課 長	藤坂 仁貴
教 職 員 課 長	西浦 利幸
特別支援教育課班長	山崎 仁寛
人権教育課いじめ問題等対策室長	蔭山 善宏
教 育 政 策 課 長	内海 はやと
教 育 政 策 課 副 課 長	櫻木 大介

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

《議案第29号 令和6年度公立高等学校生徒募集定員について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし

教育長 議案第29号を原案どおり決定してよいか諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第29号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項1 1人1台端末について》

教育長 報告を求める。

教育政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：端末を買い換える場合は、故障率の低いモデルにすべきと考える。小学校の先生に話を聞くと、市町村によって使っている機器が異なっており、学校によってはアプリが異なるなど、転勤すると慣れるまでに時間がかかり、研修をしても効果が薄いのではないかという意見があった。また、学校によってWi-Fiの接続状況に差があるという問題も聞いている。この辺を踏まえてしっ

かり対処いただきたい。

教育政策課長：小中学校の場合は、異動の問題等もあり、調達した際は、国から共同調達が推奨されていた。本県の場合は、共同調達した市町と、独自に調達した市町村がある。次回の更新については、国の次期方針も踏まえ検討していきたい。通信ネットワークの問題については、県立学校の場合、計画的に環境改善を進めているところ。

岡本委員：小中学校では、導入当初から故障が目立っており、「十分に活用できないので使わない」といった状況のところが見られる。コロナ禍で全国一斉調達という導入経緯を考えると、仕方ないのかもしれないが、予算を確保してスムーズに調達できるようなシステムを構築し、学習環境の整備をお願いしたい。

教育政策課長：次回の端末調達については、専門家の意見を聞いて検討を進めたい。

生田教育次長：今回の端末と同じメーカーの端末を導入している13市町の聞き取りを行ったところ、バッテリーに関する故障はほとんどない。先ほど、使えない状況というお話もあったが、各市町の現状としては、保証を活用し、修理あるいは交換等によって、端末を活用した学びは維持ができていていると聞いている。

河野委員：予算の問題もあると思うが、保証があればすぐに故障に対応できると思うので、検討してはどうか。

教育政策課長：今回は1年の保証であったが、次に向けてはその点も含めて検討したい。

横田委員：市町村と比べ、故障率に差があるのはなぜか。

教育政策課長：共同調達した端末は、県立学校のものとメーカーは同じだが、機種が異なる。故障の状況については使い方の問題もあるので、一概には言えない。

岡本委員：市町村によって、公費負担であったり保護者負担であったり、壊れた時の処理が異なると聞いている。どのような保証とするのか、統一してはどうか。

教育政策課長：市町村がそれぞれ契約しているため、保証の範囲も異なると思われる。詳細については把握していない。

三木委員：端末を使える生徒と使えない生徒が混在する状況になっていると思う。使えない生徒は辛いと思うので、気持ちのフォローもお願いしたい。

教育政策課長：グループで1台を使うといった工夫もしているところ。丁寧に対応してまいりたい。

教育長：このような状況となり、子供たち、先生、保護者の方々にご心配をおかけし

ていることについては、本当に申し訳ないと思っている。9月末に状況が判明し、状況が分かってきた中で、最優先に考えなければいけないのは1人1台端末の状態に速やかに戻すことである。その中でも、優先順位を決めなければいけないと考えている。子供たちの情報Iの授業については、必修科目で、座学と実習があるが、座学は従来の方法でやっていただいている。実習等で端末の使用ができないところがあってはならないため、各学校にはそういったことも理解いただいた上で、授業の実施もしっかり対応していきたいと考えている。それぞれの学校で状況が異なるので、これからも個別丁寧な対応を心がけていきたいと思っている。やはり、端末が1人1台ではない状況は、子供たちに物理的にも精神的にも負担がかかっており、本当に申し訳なく思っている。その状態を一刻も早く解決するために、先ほど、副知事をトップとするタブレットの緊急対策会議があり、副知事の方からは、スピード感・透明性・競争性と合理性のバランスを持って進めていくよう具体的な指示もあったところ。そのようなことをしっかり踏まえた上で、1人1台端末の状態に戻せるように、知事部局の知見も活用させていただきながら、知恵を絞ってまいりたい。

《報告事項2 企業の管理するデータベースへの不正アクセスによる個人情報漏えいについて》

教育長 報告を求める。  
教育政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

特になし

《報告事項3 人事委員会勧告等の概要について》

教育長 報告を求める。  
教職員課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

特になし

#### 《報告事項4 国府支援学校スクールバスの事案について》

教育長 報告を求める。  
特別支援教育課班長 内容等を報告する。

##### 〈質 疑〉

岡本委員：保育所や幼稚園でも送迎バスの事故が起きている。降車させる学校側のチェックは当然のこと、事業所側にもお願いして、誰を受け入れるのかを確認してもらい、確実に引き継ぎができるようなシステムが必要だと考える。

特別支援教育課班長：県教委としては、この事案を踏まえて、事業所側との連携について早急に対策を進める。

教育長：以前、板野支援学校のバスの事案があった際、スクールバスの安全管理マニュアルの見直し、バスに取り残されないような確認の仕方や人員の体制見直し等を行い、スクールバスが安全に運行できるように取り組んでいたところ。今回の事案は、一步間違えれば子供たちの命に関わるものである。引き継ぎが上手くいかなかったことで、子供たちは非常に不安な気持ちだったと思う。再発防止のため、ルーティン作業になりがちな業務にも、緊張感を持って臨むことが大事だと思っている。スクールバスを運行している各学校に対し、子供たちの命を預かっているという自覚と緊張感を持って業務に臨む旨を伝えるよう、指示したところ。子供たちを学校で預かり、保護者や保護者に代わる方に引き継ぐまでが教員の業務である。各学校には、徹底して取り組んでもらいたい。

#### 《報告事項5 文部科学省令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について》

教育長 報告を求める。  
いじめ問題等対策室長 内容等を報告する。

##### 〈質 疑〉

河野委員：高等学校における中途退学者の状況について伺いたい。

いじめ問題等対策室長：中途退学者は、昨年度から40人増加している。令和3年度は、コロナ感染予防のために欠席した場合は出席扱いとなったが、令和4年度は平常時に戻り欠席扱いとなったことや、不登校の生徒に対し、別室登校で対応している中、欠席日数が増

えて不登校になってしまうことが原因だと考えている。

岡本委員：コロナなどの様々な要因で不登校などが増加している現状を踏まえ、先生方が余裕を持って対応できるようにお願いしたい。不登校の課題に対応できる人材確保が大切だと思う。

いじめ問題等対策室長：不登校の児童生徒などに対し、フリーに活動できる職員、支援員などの対応を進めていく。

三木委員：少数ではあるが、先生との関係性が原因で不登校になる子供がいる。子供の多様性に先生が対応できていないケースがあると感じる。先生が柔軟に対応できるよう、方法を考えてほしい。

いじめ問題等対策室長：教育機会確保法が施行され、学校に無理に登校させるのではなく、教育支援センターやフリースクールといった、子供たちの様々な居場所が重要視されている。関係機関と連携を図り、対応していきたい。

教育長：高等学校では、校則の見直しを進めていただいております。見直しを通じて、子供たちが学校と対話のキャッチボールができるようにお伝えしている。学校を視察したところ、ある学校は、生徒が意見を学校へしっかり伝え、先生も生徒の考え方を認め、良い対話ができている。一方、別の学校では、生徒の意見と学校の方針に違いがあり、キャッチボールはしているが、うまく機能していない状況だったので、議論を重ね、認識をすり合わせるということが重要ということをお話しさせていただいたところ。子供たちの現状を把握しないと、いじめや不登校には対応できない。授業や生徒会活動、特別活動などを通じて、子供たちと先生が日常的に対話できる関係性を築くことが重要だと考える。

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前11時45分